

# 祝 町政施行50周年記念



第34号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷

伊仙町議会だより



伊仙町議会 やねだん視察記念 平成24年5月15日



行政に頼らず、集落民全員の心を「感動」させた住民自治の先進地、柳谷集落（やねだん）を研修しました。※詳細は次号で！  
（日本全国の自治体首長もプライベートで訪問し、町づくりの基本を学んでいました。2列目右奥が豊重哲郎氏）

## 目 次

平成24年度伊仙町一般会計他6特別会計予算審査報告	2P～3P
平成24年第1回定例会議決結果・請願陳情結果一覧	4P
平成24年第1回定例会一般質問通告一覧	5P～9P
飲酒運転撲滅に関する決議他道路拡幅採択通知の提出	10P
土壌分析に関するお知らせ・議会のうごき	11P
議会インターネット中継に関するお知らせ・編集後記	12P

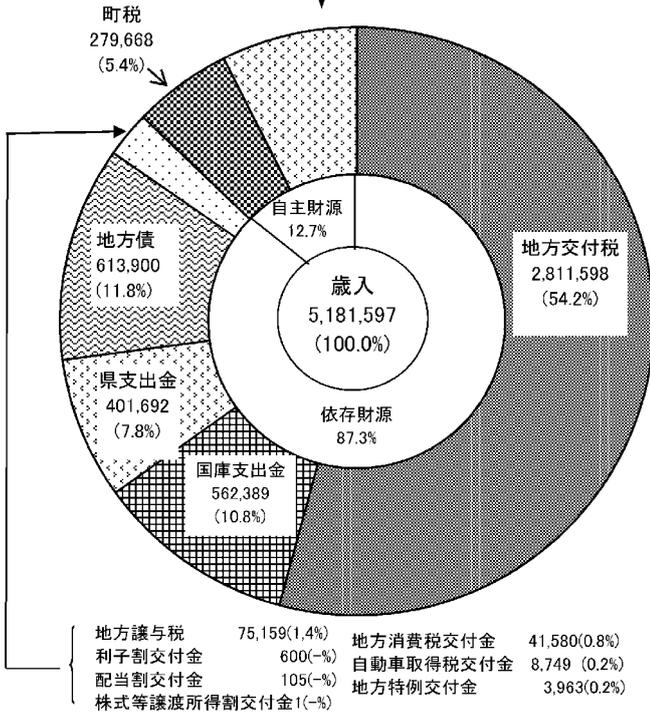
# 平成24年度一般会計予算 51億8,159万円

(前年度と比較して10.1%の増です。)

## 科目別歳入状況

(単位：千円)

繰入金	207,391	(4.0%)
諸収入	47,781	(0.9%)
使用料及び手数料	46,692	(0.9%)
繰越金	1	(-)
分担金及び負担金	70,525	(1.4%)
財産収入	7,901	(0.2%)
寄附金	102	(-)



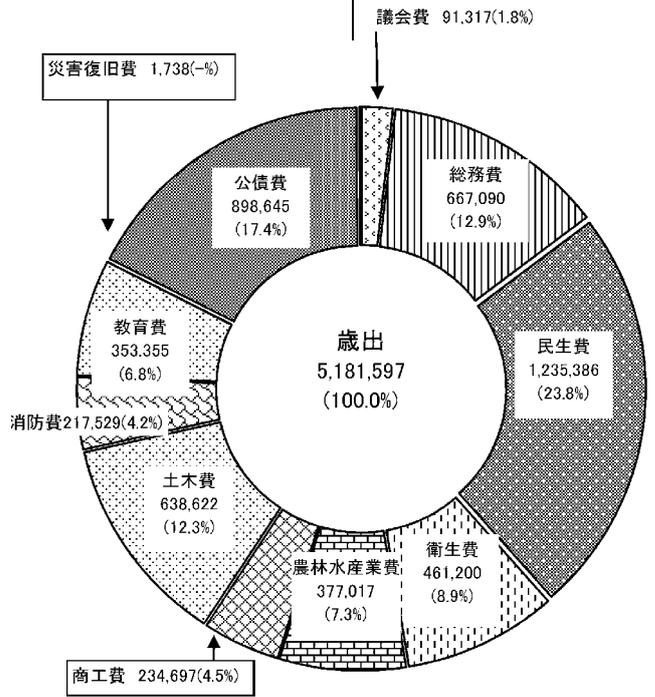
地方譲与税	75,159	(1.4%)	地方消費税交付金	41,580	(0.8%)
利子割交付金	600	(-)	自動車取得税交付金	8,749	(0.2%)
配当割交付金	105	(-)	地方特例交付金	3,963	(0.2%)
株式等譲渡所得割交付金	1	(-)			

その他 27,864

## 科目別歳出状況

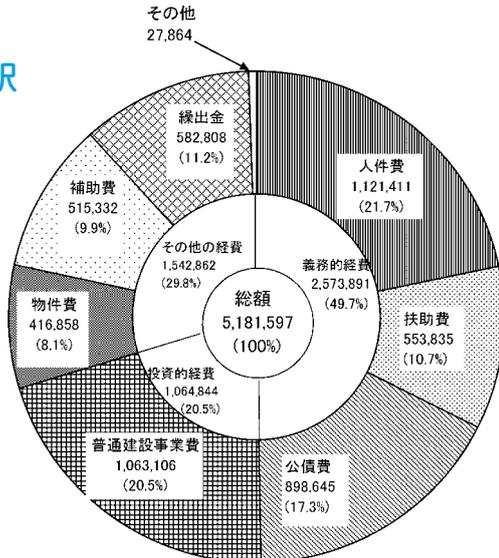
(単位：千円)

諸支出金	1	(-)
予備費	5,000	(0.1%)



## 性質別内訳

(単位：千円)



## 一般会計性質別歳出内訳 (単位：千円、%)

科目	予算額	構成比	科目	予算額	構成比
1 人件費	1,121,411	21.7	5 補助費	515,332	9.9
(1) 議員委員等報酬手当	91,605	1.8	(1) 国及び県	0	0.0
(2) 特別職の給与	24,177	0.5	(2) 一部事務組合	317,307	6.1
(3) 職員給	670,660	12.9	(3) その他	198,025	3.8
(4) 職員共済組合負担金	195,853	3.8	6 普通建設事業費	1,063,106	20.6
(5) 退職手当組合負担金	138,216	2.7	(1) 補助事業費	853,928	16.5
(6) 災害補償費	900	0.0	(2) 単独事業費	102,788	2.0
(7) その他			(3) 県営事業負担金	106,390	2.1
2 物件費	416,858	8.1	7 災害復旧事業費	1,738	0.0
(1) 賃金	87,518	1.7	(1) 補助事業費		
(2) 旅費	30,895	0.6	(2) 単独事業費	1,738	0.0
(3) 交際費	929	0.0	8 公債費	898,645	17.3
(4) 需用費	96,189	1.9	(1) 元利償還金	896,645	17.3
(5) 役員費	26,508	0.5	(2) 一時借入金利子	2,000	0.0
(6) 備品購入費	5,223	0.1	9 積立金	160	0.0
(7) その他	169,596	3.3	10 投資及び出資金	1,440	0.0
3 維持補修費	16,264	0.3	11 貸付金	5,000	0.1
4 扶助費	553,835	10.7	12 繰出金	582,808	11.2
			13 予備費	5,000	0.1
			歳出合計	5,181,597	100.0

## 平成24年度各特別会計予算 (単位：千円)

国民健康保険特別会計予算	1,215,434
介護保険特別会計予算	956,744
後期高齢者医療特別会計予算	165,374
徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	112,905
簡易水道特別会計予算	227,869
上水道事業会計予算	87,068
合 計	2,765,394

## 平成24年度伊仙町予算審査特別委員会審査報告

当、予算審査特別委員会に付託されました、平成24年度伊仙町一般会計予算及び6特別会計予算について、去る3月15日、16日に予算審査特別委員会を開きました。

その審査の経過と結果についてご報告申し上げます。

まず、執行部より予算書の内容について詳細説明を求め、それを受けての審査会の報告です。一般会計当初予算について、各委員よりあらゆる質疑があり、財政難の中にあつて予算が有効かつ適正に計画されているか答弁を求め、審査を行いました。

それを集約すると、滞納徴収率向上に対する質疑があり、徴収体制の強化、法的措置の実施、サービス制限条例の活用等で徴収率向上に努めていきますとの答弁であった。

また、年度前半は、滞納徴収に、後半は、現年度分徴収に重点をおいた徴収計画を立てて滞納徴収にもっと力を入れるようにとの提言がありました。

また、財政計画を立てる予定はあるのかとの質疑に対して、来年度以降、早急に5か年、10か年計画を立てますとの答弁であった。

歳出においては、地域農業マスタープラン作成事業費の新規就農者について、より詳しい資料等を準備して、広く知らしめる必要があるのではとの提言がありました。

また、有害鳥獣（イノシシ）被害が多発して、農作物に多大な被害が出ているが、町猟友会等の予算を増額して対応できないかとの質疑に対して、4月に町猟友会臨時総会を開催して協議しますとの答弁であった。

また、基金の繰り入れによる財政の不安定化、普通建設費の割合が当初予算の1/5を占める等の反対討論があり、平成24年度伊仙町一般会計当初予算については、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり、可決されました。

また、特別会計においては、平成24年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算審議の際、衛生面の管理徹底を図るよう要望がありました。

**議案第23号 平成24年度伊仙町国民健康保険特別会計予算**

**議案第24号 平成24年度伊仙町介護保険特別会計予算**

**議案第25号 平成24年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算**

**議案第26号 平成24年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算**

**議案第27号 平成24年度伊仙町簡易水道特別会計予算**

**議案第28号 平成24年度伊仙町上水道事業会計予算**の6件については、それぞれ起立採決の結果、全議案、賛成多数で原案のとおり、可決されました。

以上で委員長報告を終わります。

(※特別委員は議長を除く13名で構成されています。)

## 平成24年第1回定例議会議決結果一覧（会期3/6～19）

番 号	議 案 等	採決結果
報告 第1号	伊仙町老人計画及び介護保険事業計画	報 告
同意 第1号	伊仙町固定資産評価審査委員の選任	同 意
同意 第2号	伊仙町固定資産評価審査委員の選任	同 意
同意 第3号	伊仙町固定資産評価審査委員の選任	同 意
議案 第6号	伊仙町長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第7号	伊仙町職員の給与の特例に関する条例の制定	原案可決
議案 第8号	伊仙町技能・労務職員の給与の特例に関する条例の制定	原案可決
議案 第9号	伊仙町町税等の滞納に対する行政サービスの制限措置等に関する条例の制定	原案可決
議案 第10号	伊仙町スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第11号	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第12号	伊仙町公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第13号	伊仙町敬老年金支給条例の一部を改正する条例	否 決
議案 第14号	伊仙町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第15号	伊仙町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第16号	伊仙町過疎地域自立促進計画の一部変更	原案可決
議案 第17号	伊仙町辺地総合整備計画の一部変更	原案可決
議案 第18号	伊仙町堆肥センターの管理運営業務委託契約	原案可決
議案 第19号	平成23年度伊仙町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案 第20号	平成23年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案 第21号	平成23年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案 第22号	平成24年度伊仙町一般会計予算	原案可決
議案 第23号	平成24年度伊仙町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案 第24号	平成24年度伊仙町介護保険特別会計予算	原案可決
議案 第25号	平成24年度伊仙町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案 第26号	平成24年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算	原案可決
議案 第27号	平成24年度伊仙町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案 第28号	平成24年度伊仙町上水道事業会計予算	原案可決
	以下余白	

### 平成24年第1回定例議会請願・陳情・発議結果一覧

番 号	件 名	採決結果
請願 第1号	伊仙町中央通り会道路拡幅に関する請願書（紹介議員：上木議員・杉並議員）	採 択
発議 第1号	飲酒運転撲滅に関する決議について	原案可決
発議 第2号	「安全・安心の町」実現に関する決議について	原案可決
陳情 第1号	陸上空母離着陸訓練施設の馬毛島への移設反対を求める意見書採択について	文書配布
陳情 第2号	奄美医療圏における周産期医療の確保について 他	文書配布
	以下余白	

# 平成24年 第1回定例会 一般質問



杉並議員

**問** ほーらい館の年度別赤字額はいくらか。

**答** 20年度、21年度、22年度で申し上げますが、繰り越し繰入金を入れての歳入が、20年度7246万3千円で、支出が7244万6千円です。売上げだけでは補える部分が3200万8千円、21年度は2509万2千円、22年度2060万8千円になって赤字でございます。

**問** 1、2年以内に指定管理者制度について計画していくと答弁があったが計画はどうか。

**答** 24年度中に公募をいたすこととなります。そし

て、1年間かけて指定管理者制度の移行を含めて、町職員を減らしていくと、25年度からは指定管理者制度という形で町からの繰り入れがない形でやっていきます。

**問** ほーらい館は町長が条例その他の関係法令に基づき運営管理とあるが、関係法令を遵守されているのかどうか。

**答** 関係法令・条例等を遵守しながら運営しているつもりです。

**問** ほーらい館の運営審議会から緊急勧告等があったのかどうか。あったらその内容についてお尋ねします。

**答** 勧告ということでは文書が参りました。レジオネラ菌の検査結果が検出され、

今このような対応をしましたという報告をしました。

**問** レジオネラ菌ということですから、保健所等の指導を受けているのかどうか。

**答** 電話で検査結果の報告があり、その時点ですぐ保健所等の指導を仰ぎながらその後の対応、ことの重大さを認識したうえで、徹底してやっているところでございます。レジオネラ菌は1カ所しか出ていないということ、全体が汚染されていないということでした。薬品も平素に加えて、レジオネラ菌対応の薬品も利用しているところです。

**問** 人命にかかるとですから、会員だけには知らせるべきと思いますが、ほーらい館の隣には仙寿の里という高齢者の施設があるが影響はないのか。

**答** いま、杉並議員がおっしゃったこと等、また検討してより安全で事故等のな

い管理運営を目指していきます。

**問** 土づくりの推進について説明を求めます。

**答** 限られた耕地面積のなかで、単収を上げる為に、土壌分析器を導入し、町独自で分析を行っています。事業としては、環境保全型農業直接支払制度で12haに対し、農機資材の補助を行っています。また環境と調和した農業推進事業により7・2haの堆肥投入などを実施しております。



農家から要望のあった、土づくりの推進の一環として経済課が無料でやっている土壌分析。写真は、PH測定中の様子。

**問** さとうきび単収向上について説明を求めます。

**答** さとうきびの単収向上

のポイントは、新植において優良種苗の確保、適期の植え付けや管理施肥、中耕除草、病害虫防除などの栽培指針に基づき基本的な作業を確実に行うこととあります。

**問** 昨年白井川水源を復活させることによつて、含有石灰などが薄まることを見込んでいたが、白井川水源の復活に向けた結果はどうか。

**答** 白井川水源の平均水量は、1時間あたり約45tでございます。1日当たりに換算しますと約1200tで、中部地区全体を賄える水量に達しておりません。目視の判断ではございませんが、水質に関しては、かなり上質なものであると思われます。しかし、ここで判断することなく、今後も長期的な調査を進めて、水源の1つとして認可申請しておく必要があると考えます。



上木議員

**問** ドーム闘牛場の建設について、義務教育の学校教科書・教材にも採択されている、鎌倉時代の作者

兼好法師の随筆集「徒然草」に「生ける者を殺し、痛め、闘はしめて、遊び楽しまん人は畜生残害の類なり」とあり、生き物に対する不殺生・非暴力・同情を重んじ人間性を育てる、情操教育のあり方について教え戒めている。ところが今、徳之島では町長はじめ島の指導者が闘牛奨励を盛んにしている。その反面、闘牛賭博で借金地獄に陥り、家庭崩壊・自殺・闘牛による人身事故などの話題は絶えない。墮落した風潮・風説がはびこることは、情操豊かで将来の伊仙町を担う子供たちを健全育成する学校現場に悪影響は

出していないか。また、闘牛大会興業と学校教育のあり方について、PTA・教育委員等、教育関係者で討論会等は開いたことはあったか。闘牛大会興業の習俗・文化について町長、教育委員長の見解を求めます。

**答 町長** マスコミ関係者や現徳之島警察署長とも闘牛賭博はこの機会に、一掃しなければならぬとの話し合いをしております。闘牛協会会長とも話し合いまして、国・県の補助金を受けた公共施設のなかで今までのような違法行為が公然と行われることがあつてはならないとの思いで、徳之島警察署員にも制服で入って頂きたいと要望しております。あれほど子供たちが熱心に牛の世話をする動物愛護の尊い気持ち、この良い面を伸ばしていくのが教育であると思います。徳之島伝統文化情報発信施設とその名に相応しい施設にするとのことであり、10月のドーム闘牛場を中核

とする施設のこけら落としには全日空もJALもチャーター便を飛ばすとのこと、全国の多くの方々が強い関心を持って来るものと思います。長寿世界一、子宝日本一、狂喜乱舞する闘牛文化、世界の医療を変え

**教育長**

闘牛が原因の生徒指導上の問題は、把握されておりません。闘牛文化のあり方などについて、教育委員会、保護者、教師で話し合い、論議などをしたこともありません。しかし、闘牛文化は歴史的にも島民の暮らしに深く根付いている習俗ではあるが、無形文化財には登録されていないようであり、伊仙町文化財保護審議会で、町指定の方向で検討し、三町での連携を図っているところです。



町無形文化財として検討中である闘牛。観光・文化・教育の観点からも、全国に誇れる文化財として価値を見出すことが重要である。(写真：東日手闘牛場)

**問** 「伊仙町中央通り会道路拡幅工事」について、役

場前に立って東西を見渡すと、雑然として殺風景である。町の玄関口で風光・景観・利便性などを特段配慮しなければならない場所であるのに、進行中の事業を突如凍結放置して、3年7

カ月にもなるのに、事情説明もない。この事業の所管はどこで、現在どういう状況にあるのか。また、役場前から西の交差点までの整備完了予定はいつか。当初の計画通りの16m道路そのままであるかどうかについて質問します。

**答** 今年24年度は元田呉服

店からLPガスの前までを1工区、LPガス前から米田さん宅前までを2工区、そして3工区を盛本さん宅前から役場までを今年中に整備完了するとの事であり、ます。なお、3工区については、事業設計図面は、当初計画通りの道幅16m道路そのままではあるが、今回の工事実施は片側歩道11.5mであります。今後の計画については、事業凍結中断されているが、設計図面の変更はなされていないとの事であり、解除になればそのまま事業は継続進行することになります。

**問** 行財政調査特別委員会の委員長報告に対する具体的対応について、町財務の

財政シミュレーション資料によると、平成26年には実質公債費比率が18%以上となつて、起債制限団体に転落、毎年の借金返済が9億円台で続き、財政危機に陥るとのことである。町議会

では行財政調査特別委員会で調査結果報告書を議決し、平成24年度を財政再建元年と位置付けて、計画的減量経営に踏み出すべきであると次のような具体的提言を申し入れた。

「平成24年から33年度までの財政健全化10年計画をま

ず策定し、その前期平成24年～28年度までの5年間で短期特別重点期間と位置付けて、起債許可団体への転落を回避して、自主的な努力で財政健全化を断行すべきである」とした計画策定はどうか



明石議員

**問** 町長の平成24年度の施政方針に基づき逐次質問をいたします。町長は過去2年間、農業生産額50億円の達成を合言葉に訴え続けて

問します。

**答** 平成24年度、税務課に徴収体制の強化を図る為、対策室を設置して、さらに行政サービスの制限措置条例を施行し、町民の方々の理解を得ながら進めます。各事業等を見直し、洗い出して問題点を審議会に諮り、方策を打ち出して、5か年計画、10か年計画を仕上げて、計画的財政健全化を実行します。しかしながら議員指摘の行財政改革推進委員会の設置までには現在至っておりません。

まいりました。しかし、いつまでも目標でいいのか、いつまでに50億円を達成するのか具体的に示して頂きたい。町長の任期は1期4年であり、その間で何ができるか、何をやるかで評価が決まるわけであり、町長の見解は。

**答** ただいまの農業生産額50億円達成の目標に対しま

して、ご質問にお答えします。平成22年3月に策定されました伊仙町農業振興計画のなかで、今年度設定がされていませんでした。今後24年度糖業・バレイショ等終了後検証作業と目標年度設定も行ってまいりたいと思っております。

**問** 農林水産業に加工販売を融合させた第6次産業の確立とおっしゃっておりますが、具体的に何を6次化するのか伺います。例えば、ばれいしょなのか、生姜なのか、またどれぐらい生産を見越しているのか。面積は、どのように販売するのか。具体的に説明を頂きたい。

**答** 平成23年度に伊仙町6次産業化塾を開講いたしました。販売表示、経営論、パッケージなどの各種研修を行ってきましたが、道筋として現在第1次産業として原料を生産している方、原料を生産している方が加工を手掛けるために必要な

技術、考え方の習得を支援し、商品化を実現した段階で販売促進をどのように捉えているかを段階的に今実施をしているところでございます。町が何かを作った販売することではなくて、農産物を作ったそれを加工して販売する人たちをつくりあげていきたいということが6次産業化の基本であります。

**問** 保育行政について、平成27年度を目安に創設される総合こども園ができるようであります。その対策は考えているのか。また待機児童はどれぐらいいるのか。総合こども園ができるまでの対策があれば説明をいただけます。

**答** 過去5年間の待機児童ですが、5名の待機児童がおります。5名とも0歳児であり、私立保育園でしか対応できないため、現在ではいっばいの状況となっております。



子室の島として、欠かせない保育園の確保。現在、児童の年齢の関係で私立保育園のみしか対応できない問題もあり、今後も更なる子育て支援が必要となってくる。(写真：町内私立保育園)

**問** 福祉行政でありますけれども、高齢者も楽しみにしている敬老祝い金がカットされております。先日の条例のところでは否決されたので、説明は要りませんが、町長の施政方針のなかですべてのカットされた高齢者の部分が子育て支援に回るといった説明でしたが、どのくらいの額なのかご説明を頂きたいと思えます。

**答** 平成23年度で敬老祝い金904万8000円、子育て支援金補正合わせて現在760万円の予算で進めております。以前に高齢者の方からのご意見で敬老祝い金を子育て支援に使って

ほしいとのことでした。敬老年金については条例が否決されましたので、6月議会で補正をしていきたいと思えます。

以上が1回目の概略とさせていただきます。さらに詳しくご覧になりたい方は議会事務局へお問い合わせください。



佐藤議員

**問** 町営住宅管理について、各地区に永年住んでいない町営住宅があるが、今後改修して貸す計画は考えられないのか。

**答** 永年空家になっている住宅は、用途の廃止処分してある住宅か、もしくは政策空家としておいてある住宅であります。これは解体して、新しい住宅を作り変

える準備の段階でもありませんので、これを改修して貸す計画は考えていない。



廃屋と化している町営住宅跡地。景観ならびに近隣住宅への安全を考慮し、再利用や払い下げの検討が急務である。(写真：犬田布集落内にある住宅跡)

**問** 一般住民が払い下げを希望しているが、可能なのか。

**答** この建物は著しく老朽化が進んでおりますので、これを払い下げることが不可能で、不可能というか、危険を伴いますので、その住宅を取り壊して、その土地を払い下げるかどうか、財務の方と話合っていたきたいと思います。

**問** 空家住宅は、ほとんどが手入れをしておらず、定期的に清掃するか、取り壊

す考えはないのか。

**答** 空家住宅は用途廃止、もしくは政策空家としてありますので現在手入れはされておりませんが、今後草を刈ったり、定期的に清掃活動を行ってまいります。

**問** 水道関係について、西部地区の水道水は、中部・東部地区と比較して、石灰分が非常に多く、風呂のボイラーが1ないし3年で故障、買い替えをしている異常な状態です。現状の地下水に頼るだけでなく、原水だけを引き込む考えはないのか。

**答** 現在2カ所からの地下水に頼っているのが現状ですが、長期的な計画を立ててヤクタ川の表流水の調査を実施して、水量を確実に把握し、原水だけの引き込みも取り組んでいきたいと思えます。

**問** 西部地区の浄水場に軟水器を取り付けて、石灰分を除去していく考えはない

のか。今後の対策はどうなのか。

**答** 軟水器は水量によって値段が大きく違ってまいりますし、現在の西部地区からの規模からいえますと、設備費で約3億円かかる見込みで、これに維持管理費もかかってきますので、原水だけを引き込むのと比較して、今後検討していきたいと思えます。

**問** 地域防災計画の見直しについて、昨年度の東日本大震災、奄美地方を襲った集中豪雨を踏まえ、奄美の他市町村では、地域防災計画を見直す動きが広がっているが、わが町では海抜標示板の設置や防災マップの全戸数配置などの計画はあるのか。

**答** 伊仙町では、災害に対する地域の共助を促すべく、集落自主防災組織を23年度に立ち上げています。その活動がスムーズに運営ができるように、防災マップの配布も必要と思わ

れます。22年に配布した防災マップがありましたが、今回新たに津波や豪雨災害を視野に入れた、海抜地域の標示を含んだ防災マップを作成中です。できあがり次第配布したいと思えます。



琉議員

**問** 自主財源の確保について、平成23年度の納税状況と対応策はどのようにされているのか。また、農業立町の伊仙町において財政運営の基本的観点から、自主財源確保の向上には、農家所得向上が原則でありませぬ。その所得向上の指導対策はどのようにしているのか。

**答** 平成23年の納税状況は、町民税、現在徴収率72・30%、前年度比

5. 33%の増、法人税  
79.18%、前年度比  
9.91%減、固定資産税

68.29%、前年度比  
3.47%増、軽自動車

税82.78%、前年度  
比1.69%増、たばこ

税92.44%、前年度  
比7.08%減、町税全

体として74.30%、  
前年度比3.20%、2

月末現在で金額にして、  
359万6千円増額してい

る状況であります。経済課  
による農業所得向上の指導

対策については、さとうき  
び、園芸野菜、畜産の基本

品目を堅持しつつ、新規作  
品目あるいは、6次産業化の

農政の推進や、基本的な栽  
培指針等も進め農家指導を

行い、農家の意見聴取を農  
談会で実施し、経済課通信

を年6回発行いたします。  
このなかで補助事業の取り

組みについても、農政のあ  
り方も広報し、農家所得向

上に取り組み、認定農家や  
一般農家の皆様に農業所得  
の申告をお願いし、これか

らもきめ細やかにやってま  
いりたいと思います。

**問** 水道事業について、安

心・安全、おいしい水の提  
供が求められております

が、年に数回、東部地区・  
中部地区において水質の濁

り、異臭が発生している  
が、その原因と対策はどう  
なっているのか。

**答** 水質の濁りは、集中豪  
雨による土砂流出が一番の

要因、異臭は夏季や季節の  
変わり目で温度の上昇によ

り、藻類が繁殖し、異臭を  
発していると思われる、中部

浄水場においては、急速ろ  
過器の活性炭の計画的な交

換と、原水の濁度点検回数  
を増やして対応し、ろ過砂

の定期的な入れ替えと安定  
した水質水量に取り組み、

配水管の泥吐や付着した物  
質の洗管作業を定期的に実

施してまいります。老朽化  
した敷設管も24年度、25年

度と東目手久と嶺原地区、  
26年度から28年度も計画的  
に予定してまいります。

**問** 学校給食費について、  
前回の議会において、平成

24年度から学校給食費の無  
償化についての質問に、

「財務と協議して今後、周  
知徹底、熟知、熟慮しなが

ら実施する方向でいいんで  
はないかという結論に達し

ました」という答弁でした  
が、その後どうなっている  
のか。

**答** 給食無償化検討委員会  
において、無償化を取り組

む前に学校現場での給食指  
導の意義、残食が学校によ

って大きい等、各学校での  
給食指導の大切さや、子育

て支援の一環としての放課  
後学童保育のわくわくクラ

ブを今年度は充実していく  
予定であります。



給食を通じて食に対する指導や残食の状況などを考慮し、あらゆる方面から給食の意義を児童や保護者へ伝えつつ、無償化について検討する必要がある。(写真：伊仙地小学校5年生の給食風景)

**問** インターネット配信に

ついて、町のホームページ  
や議会中継等で伊仙町の取

り組みや内容がわかりやす  
く情報公開の時代に大変評

価するところでありませ  
うが、議会中継等において、

休憩中には、画面が砂嵐状  
態です。この時間を有効活

用し、町内の産業PRはで  
きないものか。

**答** 今議会から徳之島観光  
ビデオ、15分間映像等を流

してあります。今後はご指  
摘の町内産業PRも随時更

新して、放送していただ  
らと考えております。

**問** 障がい者の福祉につい

て、伊仙町は、障がい者の  
対応として養護学校の分

校・分教室について大きく  
取り組んでおりますが、以

前質問致しました、視覚障  
がい者の「ほーらい館のプ

ール使用」について可能な  
ものか。

**答** 現在、3名の方々が利  
用して頂いております。今

後とも皆様の利用できやす  
い環境づくりに努めてま

いりたいと思います。





### ※徳之島警察署からの情報

- ◎徳之島警察署管内の刑法犯認知件数114件（前年比+20件）（※うち窃盗犯が85件と前年比+28件となっています。）
- ◎徳之島警察署管内の交通人身事故の平成23年の発生件数52件（前年比-21件）  
 傷者67名（前年比-13人）、死者2名（前年比+1人）  
 ※うち1名は飲酒運転事故  
 飲酒運転の発生件数 16件（徳之島町9件・伊仙町4件・天城町3件）に加え、検問等で18人のドライバー（徳之島町11人・伊仙町3人・天城町4人）が検挙されています。

窃盗犯のなかでも、空き巣などの住宅を対象とした侵入窃盗、自動車・オートバイ・自転車を対象として乗り物盗が約4割を占めており、身近で発生する犯罪の増加が顕著であります。また、被害のほとんどが戸締りをしていなかったり、車の鍵をしていなかったものであります。最悪のパターンとして、盗まれた車等で交通事故を起こし、同乗者が大けがを負った事案もあり、改めて飲酒運転に対しても同様に防犯意識の向上に取り組んで頂きたいと思えます。

平成24年第1回伊仙町議会議定例会において全会一致で決議された、「飲酒運転撲滅に関する決議」ならびに「安全・安心の町実現に関する決議」を定例会閉会后に、町長室において正副議長、2常任委員長から、伊仙町長へ議会の決議文を送付しました。これは、近年島内における飲酒

運転の発生やあらゆる町民の生活を脅かす恐れのある犯罪等の撲滅に向けて取り組んでいくという内容であります。この決議文を受けて大久保明町長は「このような議会の決議を受けて、行政はもとより全町民に対しても改めて防犯意識に対する啓発や、安心して暮らせる町づくりに取り組

んでいきたい」とのお話がありました。町民の皆様におかれましても、今後とも各種犯罪等に関する危機意識を高めて頂き、安全で住みやすい地域社会づくりにご協力賜りますようお願い申し上げます。

飲酒運転撲滅並びに「安全・安心の町」実現に関する決議を伊仙町長へ

平成24年第1回定例会において付託された請願第1号「伊仙町中央通り会道路拡幅に関する請願書（請願者…伊仙町中央通り会 紹介議員…上木 勲・杉並 廣規議員）」が、3月19日の最終本会議で、経済建設常任委員長の採択の報告通り、全会一致で原案可決されたことを受けて、定例会閉会后、正副議長・2常任委員長出席のもと、町長室において採択通知書を伊仙町長宛に送付いたしました。これは、徳之島空港から伊仙・亀津への道路整備が行われているなかで、平成11年12月に地区住民から県へ



伊仙町中央通り会道路拡幅に関する請願の採択通知を伊仙町長へ提出

早期着工の要望がなされて、その後平成11年から平成13年に事業の検討、平成14年に国とルート協議が行われ、平成15年に新規事業として採択されて測量の着手や住民説明会等が県によって行われてきました。ところが、突如平成20年8月の説明会で県の財政逼迫を理由に工事を凍結する旨の説明・通告があり、このことで当該地区の住民や事業者が資金繰りや事業の頓挫など大きな不安や苦境に立たされていることとなり、この問題を継続的に県へ要望するべく紹介議員の上木勲議員・杉並廣規議員から住民の意見や現状説明があり、慎重に審査した結果、今後町執行部と連携して県知事へ当該事業の凍結解除並びに早期の事業再開を求める旨の議決がなされました。今後は議会といたしましても、計画的な事業執行を県が行って頂けるように継続的に要望活動を行い、さらには住民との意見交換を行ってまいります。

土壌分析の受付をしています (経済課)

経済課では最新型の土壌分析機を導入し、平成23年度より皆様の土壌の分析を受け付けています。今年度からはpHや

電気伝導度(EC)だけではなく、微量元素まで測定の上、皆様へ合同の説明会を1月に1回定期的に開催することに

しました。

ご自身の畑の土壌が、現在のどのような状態なのか、その解析を受けて本当に必要な肥料がどれだけの量なのか、それらを知ることによって過剰な施肥を避け、経費の削減にもつながります。

作付け前の土壌分析は人の健康診断のようなものです。定期的に分析を行い、皆様の肥培管理が作物にとって合っているのかどうか、ご自身で判断する材料として、ぜひ経済課にご持参の上、受付をしてください。

受付日：常時

説明会：毎月月末1回

担当：経済課 松岡・源

無料



議 会 の う ら い

平成24年1月

4日 伊仙町消防団出初式(伊仙中学校) 議員全員

5日 伊仙町成人式(ほーらい館) 議員全員

6日 平成24年第1回伊仙町議会臨時会告示

11日 平成24年第1回伊仙町議会臨時会(本会議場) 議員全員

12日 平成22年度大島郡町村議会議長会会計決算審査(奄美市) 議長

24日 大島養護学校分教室に関する勉強会(徳之島町) 議員全員

平成24年2月

2日 徳之島三力町議会議員連絡協議会役員会(徳之島町議会委員会室) 正・副議長、2常任委員長、事務局

9日 議会広報編集委員会(3月号) (議会委員会室) 議長、事務局

10日 市町村長・議会議長合同会(奄美市) 議長

14日 第63回鹿児島県町村議会定期総会(鹿児島市) 議長、事務局

18日 さとうきび被害対策協議会(奄美市) 議長

20日 平成24年度奄美地区郵便局長会総会(徳之島町) 議長

26日 徳之島三力町議会議員大会(徳之島町) 議員全員

27日 徳之島空港開港50周年記念式典(徳之島空港) 議長

29日 議会広報編集委員会(3月号) (議会委員会室) 議長

29日 議会広報編集委員会、事務局

2日 議会運営委員会(議会委員会室) 議長、議会運営委員、事務局

6日 徳之島用水土地改良区第1回総代会(ほーらい館) 議長

平成24年第1回伊仙町議会定例会(本会議場) 議員全員

平成24年3月

6日 平成24年第1回伊仙町議会定例会告示

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

# ～「議会中継」インターネットで随時配信中～

ご視聴ありがとうございます。

おかげさまで、通算3000アクセスを突破。町民の皆様をはじめ、町内外からお寄せいただいたご意見やご要望、また納めた税金がどのように使われているのか、すべてが議会中継で視聴できます。議会中継の放送時間は、議会開会中は生放送を行っており、生放送が視聴できない方の為の録画配信は、「24時間いつでも」インターネット環境が整っているお手持ちのパソコン、またはスマートフォンから視聴可能です。

ご覧になられたことがない方は、ぜひこの機会にご覧いただきますようご案内致します。



## アクセス方法

伊仙町公式HPをアクセス→伊仙町公式HP内の左にあるアイコンをアクセスすれば視聴可能です。アクセス後USTREAMのサイトへ移行します。

## ※議会中継を視聴された方からのご意見やご要望

- ・採決の際に、議員がどのような判断をされているのか、もう少しわかるようにカメラアングルを配慮してほしい。(町内 50代男性)
- ・休憩時間の合間のPRビデオが素晴らしい。他にも町内の経済活性化の為にCMを作成して放送してほしい。(町内 40代男性)
- ・議会中の姿勢が、議員をはじめ執行部の方々の緊張感が伝わって大変すばらしい。(町外40代男性)
- ・「開かれた議会」の名の下に、住民が仕事で視聴できなくても録画放送などを行い、町政や議会に対して関心を持つきっかけになり、とても良い見本である。(県内議会事務局職員)

等々、たくさんのご要望を頂いております。このようなご要望にこれからも伊仙町議会としては、真摯に対応させて頂きたいと考えておりますので、ぜひ議会中継ならびに伊仙町議会に関してのご意見やご要望をお待ち申し上げます。

### 連絡先

伊仙町議会事務局（桜山、佐平）

TEL：0997-86-3111（内16）FAX：0997-86-2301

住所：〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町大字伊仙1842番地

## 編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様です。今年も早いものでもう初夏の時期を迎え、奄美地方の梅雨入りも例年より早く突入し、屋外で勤務されている方々にとっては、大変な時期であるかと思われませんが、農作物に至っては、めぐみの雨となることを祈るばかりであります。

さて、農家の皆様におかれては、平成23年から24年間にわたったの農繁期が一段落し、今季の農作物収穫に向けてより一層力が入られているところだと推察いたします。昨年は、広範囲にわたって病害虫や有害鳥獣の被害によるさとうきびの歴史的な凶作や日照不足によってばれいしよの品質が劣化し、農家のみならず町全体の経済が停滞する事態に陥ることとなり、町を健全運営する為に重要な税収問題が深刻化しております。私たち議会においても、そのような問題について議員全員が各方面で町民の皆様からご意見やご要望を聴取し、町執行部に対してあらゆる提言を行っている次第であります。

町民の皆様におかれましても、前向きかつ関連なご意見をお寄せ頂き、ともにこの苦難を乗り越えて、今後の経済発展ならびに町政の健全運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。

(文責 清水 喜玖男)

### 議会広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 琉 理人  |
| 副委員長 | 清水喜玖男 |
| 委員   | 永岡 良一 |
| 委員   | 前 徹志  |
| 委員   | 伊藤 一弘 |